

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

社長は 10 年後の世の中を見据える 似鳥 昭雄 (ニトリ社長、22 期連続増収増益)

1. ロマン、ビジョン、意欲、執念、好奇心。企業にはこの五つがないといけない。ロマンとは志のこと。世のため、人のためとなるという志だ。ロマンを実現するために、長いスパンのビジョンが必要になる。それを立てるのは社長の仕事だ。社長は、少なくとも 10 年後に世の中がどうなっているかを見据え、その世の中に対して何をしたいのかを決めなくてはならない。
2. 社員は、ビジョンに対して計画や課題をつくる。そういったビジョンや計画があれば意欲が出てくるし、達成させるまで諦めないという執念も出てくる。好奇心をもって、見たり聞いたり、具体的な行動に出るようになる。だから、なんぼ社員が優秀でも、社長が 10 年後を見誤ってビジョンを立ててしまえば、すべて台なしになる。
3. 米国に学ぶものはなにもないという人もいるが、そんなことはない。日本は今でも、米国から 20~25 年も遅れている。ニトリも、点数を付けるとしたら、価格は 70 点、品質は 60 点、コーディネートは 50 点だ。今はうまくいっているが、調子がよいときが一番危険だ。墮落し、衰退すれば歯止めがきかなくなり、立ち直るのに 5 年も 10 年もかかってしまう。危機感を持たなければいけない。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2010 年 2 月 6 日号)

経営者のための理念・哲学

精進しょうじんの中に楽らくあり

1. 名人達人と言われる人たちがいる。そういう人たちには共通した資質がある。それは対象と一体となっている、ということである。鉄砲撃ちの名人は遠くの獲物も一発で仕留める。弓の達人も的のど真ん中を射抜く。狙った対象と一体となっているからである、そういう腕はどこから生まれるのか。自分の仕事と一体となるところから生まれる。寝ても覚めても仕事のことを考える。修練する。鍛錬を重ねる。その絶え間ない繰り返し、いつしか人を対象と一体化する高みに押し上げるのだ。
2. それは苦しく辛い営みだろうか。そうではない。名人達人の域に達した人たちが等しく抱く感慨がある。「精進の中に楽あり」。人生の真の楽しみは、ひたすら努力、精進の中にこそ潜んでいるということである。人間の根底から湧き起こる楽しみである。

(参考:「致知」:2010 年 5 月号)

海外事情

使い捨て容器安全性に疑問 (中国)

1. 食品安全問題が頻発する中国で、今度は使い捨て容器の安全性に疑問が呈されている。特に深刻なのは弁当箱で、北京の有名なレストランのものを検査したところ、規定の 20 倍のヘキサン、150 倍の酢酸ざんさいの蒸発残滓が検出された。検出物資には発がん性がある。
2. 食器問題に取り組む活動家によると、同種の弁当箱は年間 150 億個生産されるが、半分の 75 億個は規定違反の疑いがある。昨年末、国の衛生部など 7 部門が連名で食品包装材の材料に関する規定を出しているが、生産現場では守られていない。哺乳瓶などでも同様の問題が指摘されており、これら「隠された毒薬」への取り組み如何が衆目を集めている。

(参考:「WEDGE」2010 年 5 月号)

古典に学ぶ

心の腰をすえる

「真に意義ある人生を送ろうとするなら、人並みの生き方をしているだけはいけいけいでしょう。それには、人の一倍半は働いて、しかも報酬は、普通の人のお二割減くらいでも満足しようという基準を打ち立てることです。そして行くゆくは、その働きを二人前、三人前と伸ばして行って、報酬の方は、少なくとも我慢できるような人間に自分を鍛え上げていく人です」

(参考:森 信三「修身教授録抄」:報知出版社)